

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三三・四七・七二
毎週一回発行

人口減少と定住につながる支援

根本みはる市議の一般質問その①

3月議会



国立社会保障・人口問題研究所の将来推計

では、65歳以上の高齢人口は2020年には3619万人、全人口に占める割合は28.9%と増加。他方、15歳から64歳の生産年齢人口は2040年には5978万人と減少することが推計されています。

また、少子化の要因の一つは、「仕事と子育て」の両立が困難なため、女性の30歳頃を境に正規雇用率が低下し、30、40代は非正規雇用が中心となるL字カーブ問題が就労状況として指摘されています。

第9次豊田市総合計画の「ミライ実現戦略2030」若年層、女性の人口は減少、とする根拠・転入転出状況とその要因は

A 愛知県人口動向調査結果の令和3年10月1日から3年間における本市の15歳から

39歳までの社会動態は外国人人口は、3770人の社会増加となっている一方で、日本人人口は、3673人の社会減少。また、男女別の総数で男性は729人の増、女性は632人の減。15歳から39歳までの転出は、大学等への進学のほか、就職や転勤・結婚を

きっかけとした他市町村への転居が主な要因。

定住に向けた支援

A 家族形成期支援住戸は、結婚、子育て等により家族を形成する時期にある世帯に対し、本市への定住を支援することを目的としている。

応募・入居状況、今後の方向性

A 令和6年1月から1年間で、述べ14戸の募集を行い、30の応募があった。

入居状況としては、令和7年1月末時点で家族形成期支援住戸として活用できる52戸に対し、35戸が入居している。

今後も、引き続き家族形成期支援住戸を有効に運用し、家族形成期世代の本市への定住に繋げていく。

賃貸借住宅借り上げ、家賃支援制度の創設を

A 家族形成期支援住戸を低廉な家賃で提供していることから、賃貸住宅の借り上げや家賃支援による家族形成期世代への支援は考えていない。

奨学金制度の内容

A 奨学金の額は、高校生等が年額9万6千円、大学生等が年額27万円。

学業成績や家計の状況等について選考基準を設けており、奨学金審査委員会が審査し、対象者を選考。

奨学生採用予定人数、応募人数、採用人数の状況

A 新規募集「高校生等で70人、大学生等で5人。」応募人数は「高校生等78人、62人に支給決定」「大学生等は5人で、2人に支給決定」

継続は「高校生等の応募は50人で、全員に支給。大学生等の応募は7人で、そのうち6人に支給」

根本市議は「経済的に就学困難な生徒を対象として、教育の機会均等を図る制度である要保護標準要保護就学援助の本市中学生の認定生徒数は、令和5年度では1242人。所得の認定基準や要件、対象の学年も奨学金とは異なるが、困難を抱える家庭の実態と捉え、奨学金は高校・大学等への進学のために、さらに多くの生徒に必要。」と

奨学金給付対象の拡充を

A 高校生等の新規募集人数を70人に拡充。拡充後、選考基準を満たした全員に対し、新規募集人数の範囲内で支給決定ができています。

奨学金として学業成績等の一定の選考基準は必要。現在のところ、奨学金の給付対象の拡充や選考基準を大きく見直す予定はない。



公共交通における学生支援

高校生・大学生等の公共交通利用への支援の考え方、支援となる施策は

A 公共交通は通学に不可欠な交通手段。おいでんバスの通学定期は、他の公共交通と比べて安価に設定しており、利用しやすい環境にある。

令和7年度からは新たに高校生の遠距離バス通学に伴う経済的な負担の軽減や公共交通

(裏に続く)

(おもての続き)

の利用促進を図るため、補助制度による支援を行う予定。

根本市議は、高校生の通学定期券購入費補助制度は、負担の軽減として、まず一步として、通学補助の制度化が進んだ自治体の例をあげ、無料化の早期実現を求めました。

高校の通学に必要なバスの増便、ダイヤ改正

中山間地域では、おいでんバスと地域バスの乗り継ぎの時間が合わない路線、時間帯があり、通学に困っているとの声がある。他にも、交通が不便な地域、路線もある。

バスの増便、ダイヤ改正等による利便性向上の考えは。

A 通学時におけるバスの増便は利用者の利便性につながると考える。

運転手不足等の問題による公共交通を取り巻く環境の厳しさを考慮すると対応は難しい。このため、現状の運行本数を維持することで利用者の利便性を確保することが重要と考える。

運行ダイヤについては、鉄道や基幹バス等との乗り継ぎのほか、高校の始業時間や終

業時間を考慮したダイヤを設定しており、今後も利用状況や利用者の意見等を踏まえたダイヤ改正を行うなど、通学時の利便性向上に努めていく。

14年目の3・11

原発ゼロ

3.11 豊田市民行動

3月11日(火)

13:30~ 出発集会後、中電へ要請、駅前までパレード

場所：豊田市役所東庁舎の南側歩道

主催：さよなら原発豊田市民行動連絡会

要求アンケート2025

あなたの声を届けます

全国アンケート実施中♪



Webからも回答できます
こちらからアクセスしてください

「豊田民報」の記事はこちらからもご覧いただけます。



3:13 重税反対豊田集会

3月14日(金)午後3時~

崇化館交流館 4階第1会議室

重税反対を掲げて1970年から継続してきた統一行動は、自主申告を貫くとともに、消費税減税やインボイス廃止の共同を強める力になってきました。自民党の金権腐敗政治に憤る市民やインボイス廃止を願うフリーランス、戦争する国づくりや大軍拡に反対する人々、年金削減に抗議する高齢者、価格補償を求める農業者、ジェンダー平等・地位向上を求める女性、学費無償化を切望する学生など、すべての納税者に参加を呼びかけています

主催：3・13重税反対統一行動実行委員会

- ◆ 法律相談は弁護士により3月15日(土) 午前10時~12時で
- ◆ 生活相談は随時、根本議員が対応。
- ◆ 法律相談は要予約。お申し込みは
- ◆ 日本共産党西三河地区委員会まで
☎ 0564-23-2785
- ◆ 生活相談は市委員会まで
☎ 0565-34-4772



根本みはる
豊田市会議員



もとむら伸子
衆議院議員



すやま初美
参院選愛知予定候補
党准中央委員

無料

**法律・生活相談
おこなっています**